

◆◆◆ 水道部 ニュース ◆◆◆

『ただいまアー蛇口ひねって水ゴクリ』を今年のスローガンに、6月1日から7日まで、第50回水道週間が実施されています。現在、小松島市での水道普及率は約98%と、私たちの快適な暮らしを支える大切な施設となっています。

本市では、田浦浄水場から滅菌（消毒）された安心して飲む水道水として皆さんにお届けしていますが、私たち一人一人が蛇口の向こうにある水源や浄水池のことを知り、毎日の生活が健やかに過ごせるように水質汚染防止や節水に心がけることも大切です。

また本市では、地震に強い水道づくり、老朽化した水道施設の更新、水質の監視など課題に取り組みとともに、皆さんが安心しておいしく飲むことができる、安全で快適な暮らしを支え続ける水道づくりを目指しています。今後とも水道事業に対するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



節水意識の向上を目的に無料貸し出しされるテント



6月から路線区間を走行するラッピングバス



水道のしくみなど詳しくは、水道部ホームページ <http://city-awareet/suidobu/> をご覧下さい。

〈水は限りある資源・節水への取り組み〉

水道部では、「限りある資源・水を大切に」、「節水にご協力を」をアピールし、利用者の節水意識の向上を目的に、同表示をしたテント2張り（写真上）を用意し、業務に使用する日を除き貸し出し（無料）をしています。海や川でのサークル活動や町内会の催しにご利用ください。

詳しくは、水道部（田浦町 32・6188）まで。

また、6月から市営バスに「おいしい水 大切に使うね」と優愛タウンのロゴ入りで表示されたラッピングバス（写真下）が路線区間を走行します。

〈大切な水を漏らさない〉

水道部では、節水のご協力をお願いするとともに、老朽化した配水管の布設替えに取り組んでいます。（平成19年度布設替延長2,438メートル）

地上に流出する漏水は、通報を受けて水道部が24時間体制で対応し、原則として即日修理しています。

（平成19年度160箇所）
地上に現れない漏水は、貴重な資源を無駄にするばかりか、道路の陥没など二次災害の原因にもなります。そこで、交通量の少ない深夜に漏水調査を実施し、漏水箇所の発見・修理に努めています。

〈地震への備え〉

地震直後に何よりも役に立つのが、くみ置き（一人一日あたり3リットルが目安）をした水です。水道水のくみ置きは、清潔でフタのできる容器に口元いっぱいまで入れてください。直射日光を避ければ3日程度は飲料用として使用できます。くみ替えの水は、掃除や洗濯にご使用ください。（浄水器を使用した水は、塩素による消毒効果がないため、早めにくみ替えてください）

勢合雨水ポンプ場が完成いたします！

小松島市の下水道計画は、浸水防除および水質汚濁防止等を目的に、平成13年度下水道事業計画を策定し、平成17年度より勢合雨水ポンプ場の建設に着手していました。このたび、関係者各位のご協力により、きたる平成20年6月28日に同ポンプ施設の完成を迎える運びとなりました。

当施設は鉄筋コンクリート造りの地上3階、地下1階建て構造内に、立軸軸流ポンプ、口径700ミリ2基を配置し、一秒間に2.3トン排水できる施設となっています。

※図面等の縦覧を6月9日（月）から6月26日（木）まで行っています。（土・日は除く）

【お問い合わせ先】 市下水道室（市役所2階 32・3957）まで。